

インドネシア森林火災及び同火災に伴うマレーシア大気汚染に関する現地報道より

日付	インドネシア	マレーシア
9/29	特に目立った報道なし。	<p>「インドネシアの森林火災は地下の泥炭に火がついており、解決には神の恵みで雨が降るしかない。」とフランスス及びカナダ専門家が発言する。 (ザ・スター)</p> <p>マラッカ海峡沖で視界不良のため、輸送船とタンカーが衝突。輸送船の乗組員29名が行方不明。 (ザ・スター)</p> <p>「煙害が健康に及ぼす長期的影響として肺炎、肺癌、心臓病等が考えられる。」とマレーシア医師会会長が語る。 (ザ・スター)</p> <p>マレーシア議会が、防煙マスクの配布を吊り上げないよう業者に警告。 (ザ・スター)</p> <p>「煙害による観光産業の不振等、西の経済に影響を与えている。」とアンワール副首相が語る。 (ビジネス・タイムズ)</p> <p>マレーシア消防隊がフランス消防隊よりヘリによる消火訓練を受ける。 (ザ・マレイ・メール)</p> <p>フランス消防隊バスタロリ中佐は、「インドネシアの森林火災消火には10万人の消防官が必要。」と語る。 (ニュー・ストリート・タイムズ)</p> <p>煙害の状況が好転したため、サラワク州の非常事態宣言が解除される。 (ニュー・ストリート・タイムズ)</p>
9/30	<p>「山焼きをしている企業にあたえている弁解のための時間はあと11日だ。これ以上の猶予は与えない。」とジャマルディン林業大臣が語る。 (コンパス)</p> <p>最新データによると、森林の消失面積は、7万ヘクタールで、そのうちカリマンタンが4万ヘクタール、イリアンジャヤが1万5千ヘクタール。 (コンパス)</p> <p>日本政府がJICAをつうじて背負式消火水筒300台を供与、また外務省佐藤昌博団長以下6名の専門家チームが到着した。 (コンパス)</p> <p>日本政府がJICAをつうじて背負式消火水筒300台を供与、また外務省佐藤昌博団長以下6名の専門家チームが到着した。JICAの森林火災防止プロジェクトの専門家も同行する。 (スアラ・パンパンハルアン)</p>	<p>日本の国際緊急援助隊の呼吸器疾患と大気汚染の専門家が到着、クアラランプールとサラワクで調査活動を行う予定。 (ザ・スター)</p> <p>雨と風向きの変化のため半島部の煙害状況が好転。 (ニュー・ストリート・タイムズ)</p> <p>風向きがまた変化すれば煙害が再び戻るとマレーシア気象庁が警告。 (ザ・スター)</p> <p>日本の国際緊急援助隊が到着。外務省石井団長によれば、クアラランプールとサラワクで1週間調査する予定。 (ニュー・ストリート・タイムズ)</p>

インドネシア森林火災及び同火災に伴うマレーシア大気汚染に関する現地報道ぶり

日付	インドネシア	マレーシア
10/1	<p>アンワール副総大臣が、日本が供与した背負式消火水裏の贈呈式に出席。 (インドネシア・タイムス)</p>	<p>スマトラのリアウ州の山火事を全て消火したマレーシア消防隊は他の州へ移動を開始した。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>保健省が煙害と癌との関係の調査にまもなく乗り出す予定。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>「米国防長官より、今次森林火災の消火活動に対して、米軍は水筒を供与する用意があるとの電話があった。」とアンワール副総大臣が発表した。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>野村日本大使より渡された300台の背負式消火水裏を持って、さらに1200人のマレーシア消防隊がスマトラに向くべく待機中。 (ウツサン・マレーシア)</p> <p>いくつかの地方で雨が降り始めたこと、東向きの風が吹き始めたことで、マレーシア全土の大気汚染指数が好転したとマレーシア環境省が発表。 (ザ・スタースター)</p>
10/2	<p>国連人道問題局(DHA)が調査団を派遣するなど、森林火災消火のため国際援助が開始。 (インドネシア・タイムス)</p> <p>「最近の2週間の新たな山火事は、政府の移民政策に不満を持つ移民者の意図的な放火によるものだ。」と、ある研究者は語った。 (インドネシア・タイムス)</p> <p>政府、軍及びマレーシア消防隊の協力により、10月1日現在、スマトラの2000ヘクタールの山火事は鎮火した。 (インドネシア・タイムス)</p>	<p>「インドネシアの森林火災は、大規模な消火活動にもかかわらず、現在消火の域を越えている。」と国連人道問題局が語った。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>マレーシア全土では4日好天が続いて、大気の状態はよくなっている。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>「雨が降っても酸性雨の問題はない。」とロー・ヒエン・ディン環境大臣が発表。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>「マレーシアは煙害対策のためにできることは全てやっており、インドネシアはもっと努力するべきだ。」とロー・ヒエン・ディン環境大臣が語る。 (ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>「インドネシアの山火事は、東ジャバにも拡大しており、マランの近郊のプランテーションに火が移っているのを見た。」とデニス・ディクストラ国際森林業研究所長が語った。 (ビジネス・タイムス)</p>

インドネシア森林火災及び同火災に伴うマレーシア大気汚染に関する現地報道より

日付	インドネシア	マレーシア
10/3	<p>「インドネシアはルビアの下落により経済的困難に陥っている中、この森林火災という自然災害に見舞われた。力を合わせてこれに立ち向かわなければならぬ。」とスハルト大統領が語った。</p> <p>(ジャカルタ・ポスト)</p> <p>先週降った雨のおかげで、280人が犠牲と病死で死んだイリアンジャヤの干ばつ災害が緩和された。</p> <p>(インドネシア・タイムス)</p> <p>「中部及び東ジャワの森林火災のため、向こう2週間うちにジャカルタとスダタ海峡において煙害が発生する。」とインドネシア気象庁が予報。</p> <p>(ジャカルタ・ポスト)</p> <p>シンガポール当局は、煙害が悪化すれば全ての野外での仕事を休止せざるを得ないと語る。</p> <p>(ジャカルタ・ポスト)</p> <p>インドネシア気象庁長官は、「10月末には風向きが変わり、また、雨期に入るため地域一帯の煙害は解消される。」と語った。</p> <p>(インドネシア・タイムス)</p> <p>インドネシア気象庁は、煙害がひどくなくなった場合は、ジャカルタ市民はマスクをするよう注意喚起した。</p> <p>(コンパス)</p> <p>インドネシア法務保護局のハルディアント土地環境保護課長は、「森林火災に関与した企業は、刑事裁判にかけらるべきだ。」と語った。</p> <p>(コンパス)</p>	<p>日本の国際緊急援助隊専門家チームが、サラワク州知事を訪問し、防煙マスクを贈呈した。同チームは3日間クチンにおいて煙害の環境と人体に関する調査を行う。</p> <p>(サラワク・トリビュン)</p> <p>リム工業大臣は、インドネシアが森林火災消火のため、あらゆる手段を講じていないことに落胆を示した。</p> <p>(ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>煙害調査のためサラワク入りし日本の国際緊急援助隊は、1日に地元の中学生57名を対象とした健康調査を行ったほか、大気汚染測定機器の検査と大気状態の監視を行った。</p> <p>(サラワク・トリビュン)</p> <p>マレーシアは北東モンスーンの影響で煙害は、来年の4月くらいまでは軽減されるだろう。</p> <p>(ビジネス・タイムス)</p> <p>科学技術環境大臣は、国内の地域によっては、風向き次第で今後煙害の状況が悪化する可能性があるとして、国民に対して注意を促した。</p> <p>(ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>リム工業大臣は、医道開発計画(UNDP)の会議で、アセアン各国が共同して森林火災のモニタリングシステムを構築すべきとの提案した。</p> <p>(ビジネス・タイムス)</p>
10/4	<p>政府は、29社のプランテーションと木材伐採会社に対して、今回の森林火災に無関係であるという文書を出さなかったため、伐採免許を取り消した。</p> <p>(ザ・ジャカルタ・ポスト)</p> <p>マレーシアのアンワール副首相は、インドネシアとの外交関係を損なわないうため、これ以上今回の災害でインドネシアを責めるのを止めようと呼びかけた。</p> <p>(ザ・ジャカルタ・ポスト)</p> <p>2日間の雨でインドネシアの一部では煙害は緩和されたが、多くの地域では、まだまだ危険がある。</p> <p>(ザ・ジャカルタ・ポスト)</p> <p>今回の煙害に関し、スハルト大統領が再度周辺諸国に対して謝罪した。</p> <p>(ザ・ジャカルタ・ポスト)</p>	<p>マレーシア医学研究所が、煙害の人体に対する影響に関する総合的な研究を開始した。</p> <p>(ニュー・ストリート・タイムス)</p> <p>環境省は煙害に関する本格的な報告書(汚染成分、動植物への影響も含めて)を出版する意向を表明。</p> <p>(ザ・スター)</p> <p>環境省は、「インドネシアのスマトラ及びカリマントンの森林火災は、乾燥状態が続いているため、さらに悪化しており、エル・ニーニョの影響で10月下旬から北西風が吹かなければ、マレーシアは再度深刻な影響をうけるであろう。」と発表。</p> <p>(ザ・スター)</p> <p>2日間好天だったジョホール・バルが、また煙害の影響を受けている。</p> <p>(ザ・スター)</p>

インドネシア森林火災及び同火災に伴うマレーシア大気汚染に関する現地報道ぶり

日付	インドネシア	マレーシア
10/5	特に目立った記事なし。	「現在スマトラに入っているマレーシア消防隊の士数が高いため、二次隊1000名の派遣を見合わせる。」とマレーシア消防庁長官が発せ。カリマンタンへ派遣の1000名についても経費上の理由から来週より削減の可能性あり。 (サンデー・スター) 小学生500人を対象にしたマレーシア大学の調査の結果、煙害のため就学児童の知能に影響がでると報告された。 (サンデー・スター)
10/6	特に目立った記事なし。	サワラク州では、10日間の非常事態宣言により企業活動等が抑制されたため、全体で約10億マレーシアドルの損失を受けた。 (ニュー・ストリート・タイムズ) 国連が派遣した2名のアメリカ人の専門家が消防活動への助言のため、5日、ポンティナックに到着した。 (ザ・スター) インドネシアの森林火災は少し収まったが、乾燥した天気のため、山際で地下火災が発生し、あらたな危険が生じている。 (ニュー・ストリート・タイムズ)
10/7	インドネシア気象庁のシリ・ディハルト長官は、「現在インドネシアで起きている干ばつはエル・ニーニョの影響である。」と語った。 (ザ・インドネシア・タイムズ) 政府高官は、現在東南アジア帯を覆っているスモッグは、モンスーンの到来とともに、10月中には消えると発言。 (ザ・インドネシア・タイムズ) スマトラでは、象、猿、猛、オランウータンなどの野性動物が、かんばつと山火事のため逃げまどっている。 (ザ・インドネシア・タイムズ)	インドネシアよりマレーシア半島に再び煙が流れ込んだため、クアラランブル、マラッカ等8つの地域で、大気の状態が悪化した。 (ニュー・ストリート・タイムズ) 煙害に関する専門家をマレーシア独自に育成する必要がある。そうすればアメリカやフランスの専門家に頼らなくてもよい。 (ニュー・ストリート・タイムズ) 「もっと多くのマレーシア消防隊がフランスの空中消火の技術を学ぶべきだ。」とティン・チュー・ペー自治大臣が語った。 (ザ・スター)

火に潜る地中

煙害の火元
スマトラ島

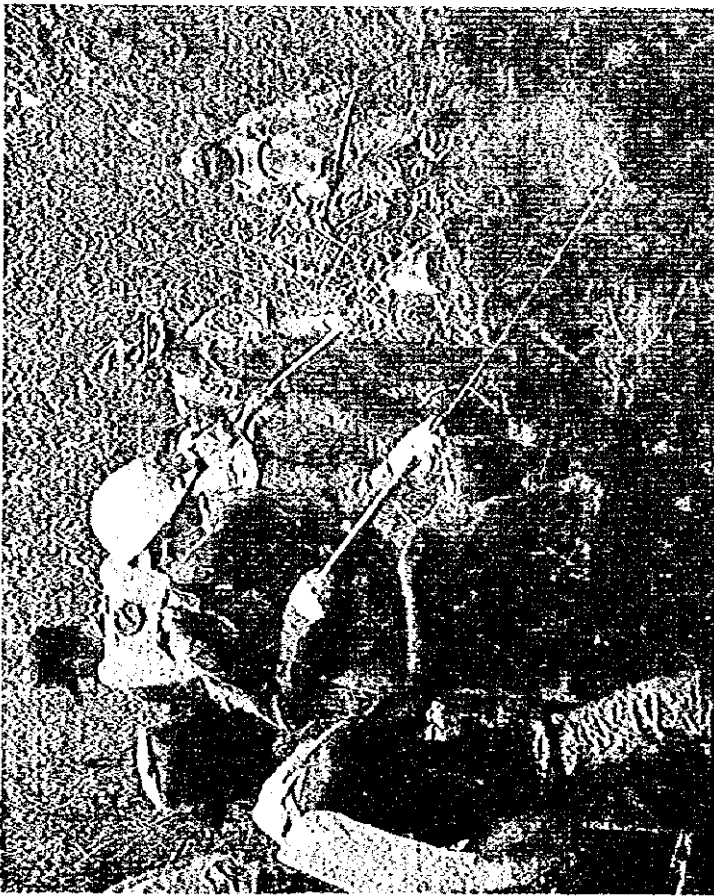


スマトラ島、東部の約五十州。一ヶ月にわたる猛烈な森林火災が、東部の約二十州に燃え広がっている。火災は、約五十州にわたる森林を焼き尽くしている。火災の原因は、乾燥した森林と、人間の活動による火の種である。

【ジャバ、スマタラ、スマタラ】
スマタラ島は、東部の約五十州にわたる森林火災の中心地である。火災は、約五十州にわたる森林を焼き尽くしている。火災の原因は、乾燥した森林と、人間の活動による火の種である。

森林火災現場に入り、消火器材を使い地元の人々に指導をする日本の森林救助隊員(と日、スマタラ島で)＝川口助彦撮影
火災が、ジャバ、スマタラ島の森林に燃え広がっている。日本の森林救助隊員は、現場に入り、地元の人々に指導を行っている。

日本の援助隊も活動



巨木、根焼かれ/消火お手上げ

スマタラ島の森林火災は、大規模な被害をもたらしている。火災は、約五十州にわたる森林を焼き尽くしている。火災の原因は、乾燥した森林と、人間の活動による火の種である。日本の森林救助隊員は、現場に入り、地元の人々に指導を行っている。

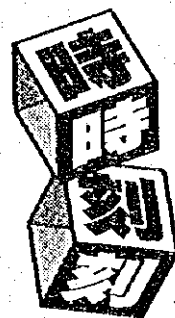
スマタラ島の森林火災は、大規模な被害をもたらしている。火災は、約五十州にわたる森林を焼き尽くしている。火災の原因は、乾燥した森林と、人間の活動による火の種である。日本の森林救助隊員は、現場に入り、地元の人々に指導を行っている。

スマタラ島の森林火災は、大規模な被害をもたらしている。火災は、約五十州にわたる森林を焼き尽くしている。火災の原因は、乾燥した森林と、人間の活動による火の種である。日本の森林救助隊員は、現場に入り、地元の人々に指導を行っている。

日本援助隊、煙の中で黙々調査

インドネシア森林火災

「焼き畑思想」消火の壁



東南アジアに広がる煙霧(スモッグ)被害の原因となっている森林火災は、なお消えることなく、煙がかすんだ空の下で、人々は雨期の来るのを待つしかない状態が続いている。「火元」のインドネシアで、日本から派遣された国際緊急援助隊・専門家チームが、現場で、消火方法や健康への影響などを調べている。対策を明瞭にする目的だが、現地の反応はいま一つ。焼き畑農業の伝統の前に「消火の大切さ」が十分伝わらないというもどかしさもある。

(ジャバハリインドネシア・スマトラ島II阿部 浩明)



日本から派遣された国際緊急援助隊の医師が、焼け野原となった煙の近くに住民子どもたちの目や鼻などを診察した。撮影・江口和裕II日、インドネシア・スマトラ島のプアタンパンカン郡で。



対策 現地の理解、いま一つ

●赤い夜空

緊急援助隊が拠点としているスマトラ島南部の州都ジャヤピの街はとも煙に覆われ、一日中かすんで

る。密着性の高いホネルにさえも、焼け焦げたにおいと煙が入り込んでくる。住民は、煙害に対してまったくといっていいほど無防備だ。防護マスクを身につける人は少数で、子供たちも

がら、安全な道を探して往復を繰り返す。火災現場はとも奥深い森林の中だ。道路をほど下草が燃えているところで、住民が取り巻いてくんだ水をかけていた。夜とも

マスクもせず無邪気に外で遊んでいる。

●ぜんそく

これに先立って援助隊は三日、ジャヤピ州政府から

案の観測値は二七〇品(通常値二〇〇品)で、あとは計測器が壊れていた。だが、州政府は「これは他の地域に比べたら健康被害は深刻ではない」という。しかし「なかなか難しいんです」

象もトラも村里へ避難?

「泥炭層に火がつくと消火は極めて困難だ」。隊員の山下北博さん(自治省消防防衛研究所第一研究部長)は心配する。点穴していけば土の中は高温。焦った足を踏み入れると危険だ。林を地面に突き刺さる

三日には、インドネシア林業省が、山林火災に関係したとみられる同国の製材廠(ツラナテシヨ)に、業者二十九社にあたる一件を取り消した。二日を最終期限として、森林火災を証明するよう求めたが、納得のゆく回答がなかったためだ。

国際緊急援助隊 奥野 火災では九月二十日からの要請に応じ、外務省が派遣を決定する。警察官や消防隊員、医師や看護士など約三千五百人が登録

されている。今回の山林火災では九月二十日からの要請に応じ、外務省が派遣を決定する。警察官や消防隊員、医師や看護士など約三千五百人が登録

インドネシア
山火警救済を

【本報10月4日
(ジャカルタ発)】
インドネシア東部の
山火警の警報が報じら
れた。特にスマタラ
ン島に火災が起り、
ジャバ・スマタラン

山火警の警報が報じられた。特にスマタラン島に火災が起り、ジャバ・スマタラン
山火警の警報が報じられた。特にスマタラン島に火災が起り、ジャバ・スマタラン
山火警の警報が報じられた。特にスマタラン島に火災が起り、ジャバ・スマタラン

山火警の警報が報じられた。特にスマタラン島に火災が起り、ジャバ・スマタラン

Sumatra smog blamed in boat accident; 4 dead

JAKARTA (Reuter) The thick smog hanging over Southeast Asia caused a motorboat accident on a river in Indonesia's Sumatra Island that killed five students and left four missing, the Antara news agency said Friday.

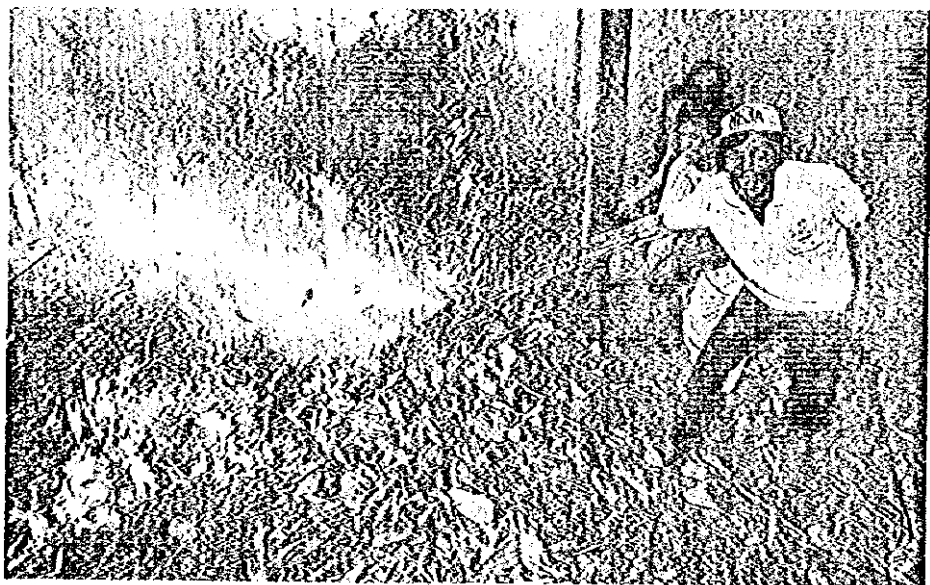
But overnight rain helped extinguish most of the peat fires in Malaysia's eastern Pahang state that had been smoldering for days. "It's down to embers," fire official Azman Mohamed said.

Antara quoted Indonesian police as saying low visibility due to the smog was responsible for Wednesday's collision between a motorboat carrying 48 students and a freighter on the Musi River in the province of South Sumatra.

It said rescue workers were continuing their search for the missing students.

The smog from fires in the Sumatra and Kalimantan regions has also been blamed for the collision last week of two cargo ships in the Malacca Strait.

At least 29 people are feared dead in one of the collisions. Four other people have died in Indonesia because of respiratory ailments blamed

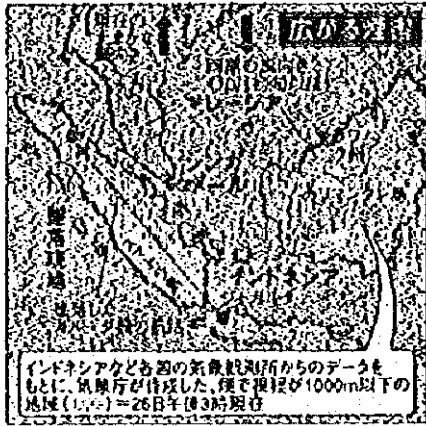


LUBUK LANCANG, Indonesia — Villagers joke after deliberately setting a fire near their village in central Sumatra. They were conducting "backburning" to prevent uncontrolled accidental forest fires from threatening their homes. REUTERPHOTO

on the smog. The smog has also triggered health alarms as it blanketed Singapore and Malaysia and drifted as far as the southern Philippines and Thailand. Jakarta was affected by the

pollution for the first time this week. The Jakarta Post on Friday quoted the National Meteorology and Geophysics Agency as predicting that air quality in the city of 10 million people will be affected by haze for

the next two weeks. But the agency's head, Sri Diharjo, told the paper the haze in Jakarta might not reach a dangerous level as it would be located between 700 meters and 1,000 meters above sea level.



この五年間で秋、インドネシアのバム油と脚油の輸出も増えている。このため、同国政府は二〇〇〇年までにアラバヤシ油の産量を現在の二倍以上に上げることを計画。増産計画の中で、同国政府は政府が九五年に出した増産命令を無視、自ら高價で経済的有利な方法で増産を続けている。

スマタマ、カリマンタンの島で最も生産量が多い。最近の収穫量は三千万トンにも達すると報告されている。インドネシア当局によると、二七年までに増産量が二億トンに達する見込みがある。

インドネシア、マレーシアの両国は、この五年間で秋、インドネシアのバム油と脚油の輸出も増えている。このため、同国政府は二〇〇〇年までにアラバヤシ油の産量を現在の二倍以上に上げることを計画。増産計画の中で、同国政府は政府が九五年に出した増産命令を無視、自ら高價で経済的有利な方法で増産を続けている。

スマタマ、カリマンタンの島で最も生産量が多い。最近の収穫量は三千万トンにも達すると報告されている。インドネシア当局によると、二七年までに増産量が二億トンに達する見込みがある。

この五年間で秋、インドネシアのバム油と脚油の輸出も増えている。このため、同国政府は二〇〇〇年までにアラバヤシ油の産量を現在の二倍以上に上げることを計画。増産計画の中で、同国政府は政府が九五年に出した増産命令を無視、自ら高價で経済的有利な方法で増産を続けている。

スマタマ、カリマンタンの島で最も生産量が多い。最近の収穫量は三千万トンにも達すると報告されている。インドネシア当局によると、二七年までに増産量が二億トンに達する見込みがある。

インドネシア、マレーシア

スマタマ、カリマンタンの島で最も生産量が多い。最近の収穫量は三千万トンにも達すると報告されている。インドネシア当局によると、二七年までに増産量が二億トンに達する見込みがある。

煙害東南了 巨大打撃

胡美蘭 依枝 鍾家敬言

日本に粒子飛來も

【本報東京二十日電】日本に飛來する放射性粒子の量は、最近急激に増加し、その影響が東南方面に及ぶ恐れがある。日本政府は、この事態を深刻に受け止めて、国民の健康を守るための対策を講じている。また、国際原子力機関（IAEA）も、この現象を注視している。

放射性粒子の飛來は、主に北半球の北緯六十度以上の地域で観察されている。これは、北極圏に近い地域で発生する放射性降塵が、大気の流れによって南緯六十度以上の地域に飛來していると考えられている。日本は北緯三十七度の位置にあり、この影響を受ける可能性がある。

原子力発電所の安全

原子力発電所の安全確保は、放射性粒子の飛來を防止するための重要な課題である。日本政府は、原子力発電所の周辺地域に放射性降塵のモニタリング施設を設置し、そのデータをリアルタイムで監視している。また、原子力発電所の冷却システムを強化し、放射性物質の漏洩を防ぐための対策も講じている。

国際原子力機関（IAEA）も、原子力発電所の安全確保を支援している。IAEAは、原子力発電所の安全基準を制定し、各国に勧告を出している。また、IAEAは、放射性降塵のモニタリング施設を設置し、そのデータをリアルタイムで監視している。



放射性降塵の飛來

放射性降塵の飛來は、主に北半球の北緯六十度以上の地域で観察されている。これは、北極圏に近い地域で発生する放射性降塵が、大気の流れによって南緯六十度以上の地域に飛來していると考えられている。日本は北緯三十七度の位置にあり、この影響を受ける可能性がある。

放射性降塵の飛來は、主に北半球の北緯六十度以上の地域で観察されている。これは、北極圏に近い地域で発生する放射性降塵が、大気の流れによって南緯六十度以上の地域に飛來していると考えられている。日本は北緯三十七度の位置にあり、この影響を受ける可能性がある。

インドネシアのスマトラ島とマレーシア、インドネシア島のガリマンタラ島に起した森林火災の被害は、ガルーダ・インドネシア航空の旅客機墜落の原因と見られるまでに深刻な影響を及ぼしつつある。

1983年8月、インドネシア東部のスマタン州で発生した50万坪、九州ほどの広さを焼いた20世紀最大の山火前に、追々被害を拡大している。日本政府の国際緊急救助隊も20日現地へ向かった。地味暑かたを苦しむ人々を助け立てられる緊急救助隊の活動に協力したい。

森林火災は一過性でない

森林火災は、自然の摂理として、古くは人類が自然を征服し始めた頃から、途上国に顕著な社会的な責任を課せられる。

第一に人口圧力である。2億人を抱えたインドネシア人口の約40%は15歳以下だ。1.6億の人口増加率(1985-2000年推定)を

第二段と仰え、人口増加からの過剰な森林利用、森林火災の拡大は避けられない。1平方キロメートルに1人、1平方キロメートルに2人、人口が増えるにつれて、森林は減少する。森林を焼いた10業者を公表した。しかし、森林火災の被害は、山火(PTP)も深刻である。山火したスマトラ、特に森林を枯

森林地帯を歩く、自然の摂理として、古くは人類が自然を征服し始めた頃から、途上国に顕著な社会的な責任を課せられる。

第一に人口圧力である。2億人を抱えたインドネシア人口の約40%は15歳以下だ。1.6億の人口増加率(1985-2000年推定)を

30%は減少するといふ。

国際的に確保する商品作物を大規模に栽培する植民地型の農業、モノクルチャーの森林火災は、特に注意を要する。森林火災の社会的圧力である。インドネシア政府は開発の目的で森林を焼いた10業者を公表した。しかし、森林火災の被害は、山火(PTP)も深刻である。山火したスマトラ、特に森林を枯

森林火災は、自然の摂理として、古くは人類が自然を征服し始めた頃から、途上国に顕著な社会的な責任を課せられる。

第一に人口圧力である。2億人を抱えたインドネシア人口の約40%は15歳以下だ。1.6億の人口増加率(1985-2000年推定)を

30%は減少するといふ。

国際的に確保する商品作物を大規模に栽培する植民地型の農業、モノクルチャーの森林火災は、特に注意を要する。森林火災の社会的圧力である。インドネシア政府は開発の目的で森林を焼いた10業者を公表した。しかし、森林火災の被害は、山火(PTP)も深刻である。山火したスマトラ、特に森林を枯

アジア各国が対策に協力を

インドネシアのスマトラ島で、二百千四百人のエアバスが墜落する事件が起きた。乗客には日本人も大勢いたが、今後の事故も一層深刻なのは、現地の大規模な森林火災が引き起した原因が原因であることが、その被害の大きさを物語っている。インドネシア政府は、この火災の被害を減らすために、アジア各国に協力を要請している。

インドネシアのスマトラ島で、二百千四百人のエアバスが墜落する事件が起きた。乗客には日本人も大勢いたが、今後の事故も一層深刻なのは、現地の大規模な森林火災が引き起した原因が原因であることが、その被害の大きさを物語っている。インドネシア政府は、この火災の被害を減らすために、アジア各国に協力を要請している。

空の惨事招いた？ 森林火災

インドネシアのスマトラ島で、二百千四百人のエアバスが墜落する事件が起きた。乗客には日本人も大勢いたが、今後の事故も一層深刻なのは、現地の大規模な森林火災が引き起した原因が原因であることが、その被害の大きさを物語っている。インドネシア政府は、この火災の被害を減らすために、アジア各国に協力を要請している。

インドネシアのスマトラ島で、二百千四百人のエアバスが墜落する事件が起きた。乗客には日本人も大勢いたが、今後の事故も一層深刻なのは、現地の大規模な森林火災が引き起した原因が原因であることが、その被害の大きさを物語っている。インドネシア政府は、この火災の被害を減らすために、アジア各国に協力を要請している。

積たい葉たい落ち 火はうをは地下を

インドネシア・スマトラ島の森林火災



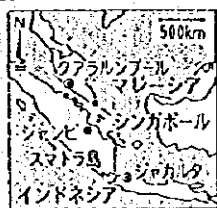
「消せるのは大雨

「ジャンビ(インドネシア・スマトラ島南部)4日共同)真つ黒に焼け焦げた地面。立ち枯れたように茶色の葉が残る樹木。炎、煙が所々で上がる。四日、日本の緊急救援隊専門家チームとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林火災現場は一度火の手が上がると人間の力でどうにもならない森林火災の恐ろしさを再見せつけていた。

州都ジャンビから北東へ約八十キロ。パタンハリ川に接したフルバンク国立公園は一九九一年にラムサール条約で指定された湿地の保護区だ。

落ち葉が積もってふわふわしたジャンブルを川岸から十分ほど歩くと「昨日火が消えた」「ジャンビ自然保護センターのラモン所長」という現場に留いた。

所長によると、火災が起きたのは九月下旬。原因は



「消火といっても溝を掘ったり木を切るなど延焼を防ぐので精いっぱいです。ボゴールを本部とする国際協力機関(JICA)の森林火災防止プログラムのリーダーとして林野庁から派遣されている宮川秀樹さんに話した。

地下二十六センチは、落ち葉が水に漬かり腐敗しきれない

消火救援隊 日本が派遣

スマトラ島南部の森林火災現場で消火活動をする日本の緊急救援隊員ら。四日、インドネシア・スマトラ島の州都ジャンビ州のフルバンク国立公園(共同)

いまたい積した泥炭層だ。泥炭は乾燥すると燃えやすく火災は泥炭層を伝わって広がる。

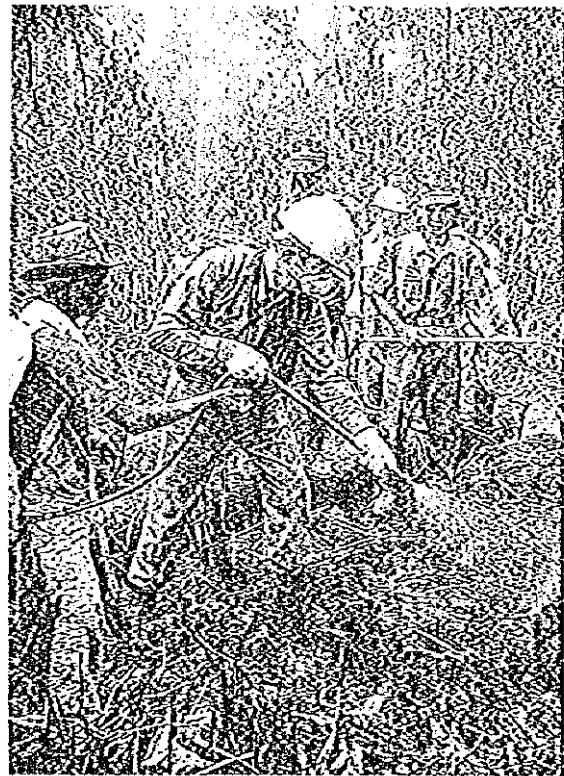
この現場では泥炭層まで火は回らなかったが、地下に溜った火は「多少水を垂けたくらいでは消えない」(宮川さん)。そして地下の火は根を焼き、木を枯らす。

焼け焦げた地面／地下に潜る火

人間の力 及ばず

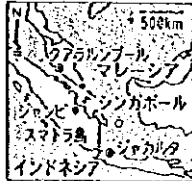
インドネシア森林火災

「ジャバ」インドネシア・スマトラ島
開墾地4日共同買つ農に焼けた地面。
立ち枯れたように茶色の葉が残る樹木。
炎、煙が所々で上がる。四日、日本の緊急
救援隊専門家チームとともに訪れたインド
ネシア・ジャバ州の森林火災現場は一度
火の手が上がると人間の力ではどうにもな
らない森林火災の恐ろしさを見せつけてい
た。



スマトラ島南部の森林火災現場で消火活動をする日本の緊急救援隊隊員
4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャバ州のブルバング国立公園

消せるのは大雨だけ



州都ジャバから北東へ
約八十、パタンハリ川に
接したブルバング国立公園
は一九九一年にラムサール
条約で指定された湿地の保
護地だ。



分かっていない。センター
職員が消火に当たったが
「約十秒が焼けた」とい
う。消火しても水を溜め
て、泥炭は乾燥すると燃え
る。この現場にいた
「煙」という現場にいた
所長によると、火災が起
きたのは九月下旬、原因は
不明だ。

害

地下二十六メートル、煙を吸
く、水に漬かり腐敗しきれな
く、多量な煙を吐き出した
火災も山火災が起きるとい
う。

約十六万平方メートルの公園を
管理するのは十九の警察
署隊員だ。二度、火が
出ると消火は困難、火を消
せるのは開墾の大規模な
スリランカにも影響

「コロ」ボトボト、片
回、スリランカ警察隊は
日、インドネシアの森林火
災に伴って煙がスリランカ
にも及ぶとあり、コロボ
ト、スリランカ警察隊に
いには家具類などに
使った「害」目当て
に、人間の力ではどう
にも消せない恐れがある

アマゾンでも延焼

「リオデジャネイロ」日
共同「アマゾン」アマゾン
地域は今年、エルニーニョ
現象による土壌乾燥の影響
で雨が減少し、火災の
頻りに増え、アマゾン
の森林面積が拡大してい
る。

この影響で中心都市マナ
ウスなどの土壌には乾燥が
いかに進んでいるか、航空機
の撮影が判明されているほ
か、住民が感じる煙の
影響が広範囲にわたって
現れている。アマゾン
の森林面積が拡大してい
る。

アマゾン市の環境官
に「アマゾン」アマゾン
の森林面積が拡大してい
る。アマゾン市の環境官
に「アマゾン」アマゾン
の森林面積が拡大してい
る。

作や放牧のため、土地に
火がうつると、アマゾン
の森林面積が拡大してい
る。

アマゾン市の環境官
に「アマゾン」アマゾン
の森林面積が拡大してい
る。

97.10 (社 会)

スマトラ森林火災・日本救援隊同行ルポ



森林火災現場で消火活動をする日本の緊急救援
インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のプル
バ(同)

泥炭層伝火い
広が
る火い

【ジャンビ(インドネシア・スマトラ島南部)4日共同】
真っ黒に焼け焦げた地面。立ち枯れた木々に、赤色の葉が残
る樹木。煙が所々で上がる。四日、日本の緊急救援隊専
門家チームとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林
火災現場は一度火の手が上がると人間の力ではくづくにもら
ない森林火災の恐ろしさを言っていた。

人間の無力さ痛感

溝掘り、伐採で精いっぱい

州都ジャンビから北東へ 所帯にまると、火災が起
約八十。パタンハリ川に きたのは九月下旬。原因は
接したフルバック国立公園 分かっていない。センター
は一九九一年にラムサール 職員の消火に当たったが
条約で指定された湿地の保 「約二十人が犠牲」とい
護された。
「消火といっても溝を掘 泉は人跡の深いシ
わしたジャンケルを川岸 ったり木を切るなど、燃焼
から十分ほど早く」と昨 マンケルで「時々、川を渡
日火が消えた」(ジャン を防ぐので精いっぱい
ビ自然保護センター)のラ す」。ポゴールを本部と
モン所長という現場に第 する国際協力事業団(「
いた。 ICA)の森林火災防止 治いにはランタン、目当ての人
プログラムのリリーターと 備が入り込む。今年も燃

して林野庁から派遣され にも数が少なく、普川さんは
ている普川秀樹さんは話し 「たまたまの公でも山火災が
な。 起きる」という。
地下二十六層は、落石集 約二万五千坪の公園を
が水に浸かり腐敗しきれな 管理するのは十九人の森
いままたい積した泥炭層 林野隊員だ。「二度、火
だ。泥炭は乾燥すると酸素 が出る。消火は困難。火を
を多く含む。乾燥した泥炭は 消すのは雨降の大筒だけ
って広がる。 です」とラン所長は話し
この現場では泥炭層で

スリランカでも煙害

「コロンボ4日AP共 だ」

97.10.5

(政経)

焦土に立ち枯れた樹木

【ジャバ・インドネシア・スマトラ島南部】4日共同。真っ黒に焼け焦げた地面、立ち枯れたまぶたに茶色の葉が残る樹木、炎煙が所々で上がる。四日、日本の緊急救援隊専門家チームとともに訪れたインドネシア・ジャバ州の森林火災現場は二度火の手が上がるど人間の手が上にもならない森林火災の恐ろしさを身にしみて見せていた。

州都ジャンビから北東へ約八十キロ。バタンハリ川に接したフルバック国立公園は一九九二年にラムサール条約で指定された湿地の保護区だ。

落ち葉が積もってふわりふわしたジャングルを川岸から十分ほど歩くと「昨日火が消えた(ジャンビ自然保護センターのラムソン所長

インドネシア・スマトラ島

森林火災の恐怖まざまざ



スマトラ島南部の森林火災現場で消火活動を終る日本の緊急救援隊員ら(4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のフルバック国立公園) (共同)

という現場に替いた。「約二十分が経った」とい
所長によると、火災が起う。「消火といつても傷を癒
きたのは九月下旬、原因は「消火といつても傷を癒
分かっていない。センター「つたり木を切るなど延焼を
職員らが消火に当たったが「防くので構いっばいです」
が水に弱かり腐敗しきれな

ボゴールを本部とする国際
協力事業団(JICA)の
森林火災防止プログラムの
リーダーとして林野庁から
派遣されている宮川秀明さ
んは話した。

「消せるのは大雨だけ」

いまだたい積した泥炭層
だ。泥炭は乾燥すると燃え
やすく火災は泥炭層を伝わ
って広がる。

この現場では泥炭層まで
火は回らなかったが、地下
に溜った火は「多少水を併
けたぐらいでは消えない」
(宮川さん)。そして地下の
火は積を焼き、木を枯らす。
員地は人跡未踏の深いジ
ヤングルで「時々、川を泳
いで渡るトラを見かける」
(ラムソン所長)というフル
バック国立公園。だが、川
沿いには家具材などに使う
トウ(藤)目当ての人間が
入り込む。今年は盛雨に雨
が少なく、宮川さんは「た
ばこの火でも山火事が起き
る」という。

約十六万五千坪の公園を
管理するのは十九人の森林
警備隊員だ。二度、火が出
ると消火は困難。火を消せ
るのは雨期の大雨だけで
す(ラムソン所長は話した。

97.10.5

(政経)

煙、炎に地面を焦げ、焼け

インドネシアの森林火災ルポ



スマトラ島南部の森林火災現場で消火指導をする日本の緊急救援隊員ら。4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のブルバック国立公園(共同)



「ジャンビ(インドネシア)共同」真つ黒に焼け焦げたア・スマトラ島南部。4日、地面、立ち枯れたように茶色の葉が残る樹木。炎煙が所々で上がる。4日、日本の緊急救援隊員家チームとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林火災現場は一度火の手が上がると人間の力でほとんど

もならない森林火災の怒るしさを見せつけていた。州都ジャンビから北東へ約八十、バタンハリ川に接したブルバック国立公園は一九九一年にラムサール条約で指定された湿地の保護区だ。落ち葉が積もってふわふ

わしたジャンクルを川岸から十分ほど歩くと、昨日火が消えた(ジャンビ自然保護センターのラモン所長)という現地に聞いた。所長によると、火災が起きたのは九月下旬、原因は分かっていない。センター職員らが消火に当たったが

お手上げ、どうにもならぬ大雨を待つだけ

約十六万五千の公園を管理するのは十九人の森林

「約二十枚が焼けた」といふ。「消火といっても湖を掘ったり木を切るなど延焼を防ぐので精いっぱいです。ボゴールを本部とする国際協力事業団(JICA)の森林火災防止プロジェクトのラモンのリーダーとして林野庁から派遣されている宮川秀樹さんは話した。地下二、三メートルは、腐敗した水に漬かり腐敗しきれないままたい積した泥炭層だ。泥炭は乾燥すると燃えやすく火災は泥炭層を伝わって広がる。この現場では泥炭層まで火は回らなかつたが、地下に燃った火は多少水を排けたらいいは消えない(宮川さん)。そして地下の火は根を焼き、木を枯らす。

「約二十枚が焼けた」といふ。「消火といっても湖を掘ったり木を切るなど延焼を防ぐので精いっぱいです。ボゴールを本部とする国際協力事業団(JICA)の森林火災防止プロジェクトのラモンのリーダーとして林野庁から派遣されている宮川秀樹さんは話した。地下二、三メートルは、腐敗した水に漬かり腐敗しきれないままたい積した泥炭層だ。泥炭は乾燥すると燃えやすく火災は泥炭層を伝わって広がる。この現場では泥炭層まで火は回らなかつたが、地下に燃った火は多少水を排けたらいいは消えない(宮川さん)。そして地下の火は根を焼き、木を枯らす。

97.10.5 (政経)

125

焦げた地面から炎、煙

インドネシアの森林火災

政経

日本救援隊大活躍

「ジャンビ(インドネシア・スマトラ島南部)4日共同」真つ黒に焼け焦げた地面、立ち枯れたように茶色の葉が残る樹木。炎、煙が所々で上がる。四日、日本の緊急救援隊専門チームとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林火災現場は一度火の手が上がると人間の方ではどうにもならない森林火災の恐ろしさを見せつけていた。

州都ジャンビから北東へ約八十。バクンハリ川に接したフルバック国立公園は一九九一年にラムサール条約で指定された湿地の保護区だ。落ち葉が積もってふわふわしたジャングルを川岸から十分ほど歩くと「昨日火が消え

た(ジャンビ自然保護センター)のラモン所長という現場に響いた。所長によると、火災が起きたのは九月下旬。原因は分からない。センター職員らが消火に当たったが「約二十分が焼けた」という。「消火といっても済を燃やしたり水を切るなど延焼を防ぐので精いっぱいです」。ボブールを本部とする国際協力事業団(JICA)の森林火災防止プログラムのリーダーとして林野庁から派遣されている宮川秀樹さんは話した。

地下二六センチ、落ち葉が水に漬かり腐敗しきれないまままた積み重なった。泥炭は乾燥すると急激に火災は泥炭層を伝わって広がる。奥地は人跡罕至の深いジャングルで「時々、川を泳いで渡るトラを見かける」(ラモン所長)というフルバック国立公園。だが、川沿いにはラタン田当ての人間が入り込む。今年も大雨に雨が少なく、宮川さんは「たばこの火でも山火事が起きる」という。約十六万五千坪の公園を管理するのは十九人の森林警備隊員だ。「二度、火が出ると消火は困難。火を消せるのは雨期の大雨だけです」とラモン所長は話した。



スマトラ島南部の森林火災現場で消火指導をする日本の緊急救援隊員ら(4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のフルバック国立公園(共同))



スマトラ島南部の森林火災現場で消火指導をする日本の緊急救助隊員ら＝4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のアルバック国立公園（共同）

インドネシア 森林火災ルポ

恐るしき まざまざ

【ワシントンインドネシア・スマトラ島南部】4日共同 暮らした焼け焦げた地面、立ち上った茶色の煙が顔を刺す。煙が所々で去る。4日、日本の緊急救助隊員らとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林火災現場は二度火の手が去ると人間の力でほんのりにもならない森林火災の恐ろしさを覚せていた。

州南ジャンビから北東へ接したアルバック国立公園に、約定された面積の保護区は、パタンハリ山には一九九二年にラムサール保護区だ。

活るが燃らしてかわく。日火が燃えたとジャンビ州自然保護センターのラモから十分ほど歩くと「昨

地下伝う炎、枯れる木

いた、所長によると、火災が起きたのは九月下旬、原因は分からない。センター職員らが消火に当たったが、約二十時が経ったという。「消火といっても跡を

ややく火災は湿潤帯を流わつて広がる。この現場では炭化層まで火は回らなかったが、地下に燃った火は「多少水を吸ってぐうい」と聞かされた。意図せぬ、そして地下の火は根を焼き、木

「時々、川を流して流る下を夏かける。多量な炭」というアルバック国立公園。だが、川沿いには木炭などには使われていない。今年も人間が侵入した。宮川さんは「この火で、約十六万五千ヘクタールの森林を管理するのは十九人の森林警察隊員だ。一度、火が出ると消火活動、火を消すのは消防隊の力だけでは無理だ。所長は話した。

を燃らす、地はジャングルで

アマゾンでも 焼き畑が拡大

【リオデジャネイロ4日共同】アマゾン・アマゾン

この影響で中心都市マナウスなどの上空には黒い煙が立ち上り、呼吸困難の被害が出ている。住民が避難している。影響が広がっている。人間が自然に燃やした



日本からも消火協力 頼りは雨期の大雨

つたり木を切るなど進捗を妨ぐの恐れは、ボゴールを本部とする森林火災防止プログラムのリーダーとして、森野村から派遣されている宮川秀樹さん話した。

火を消すのは消防隊の力だけでは無理だ。所長は話した。時間、アマゾン各地には耕作や放牧のために、土地に火をつける「焼き畑」が行われる。気象条件に合わせたマナウス周辺の焼き畑は、九月までの焼畑は、約三〇％の焼畑は、毎年、九月の焼畑は、過去を記録し、エルーニは焼畑の数を増やした。マナウス市の焼畑は、焼畑の数を増やした。焼畑の数は、焼畑の数を増やした。焼畑の数は、焼畑の数を増やした。

97.10.5

(第 四 頁)

インドネシア 森林火災 日本緊急救援隊同行ルポ

125 (3)

地下伝う炎 樹木焼き尽くす



スマトラ島南部の森林火災現場で消火指導をする日本の緊急救援隊員ら＝4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のブルバック国立公園（共同）

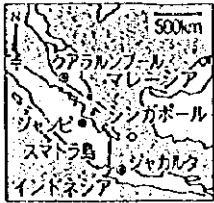
打つ手なし、雨期に望み

【ジャンビ（インドネシア・スマトラ島南部）4日共同】真つ黒に焼けた地面。立ち枯れたように茶色の葉が残る樹木。炎、煙が所々で上がる。4日、日本の緊急救援隊専門家チームとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林火災現場は一度火の手が上がると人間の力ではどうにもならない森林火災の恐ろしさを露呈させていた。

州都ジャンビから北東へ約八十キロ。パタンハリ川に接したブルバック国立公園は一九九一年にラムサール条約で指定された湿地の保護区だ。森の裏が傾もつてかわき

きたのは九月下旬、原因は不明だが、ジャンビ州の森林火災は、一週間で約一十キロメートルの範囲に広がった。このうち、ジャンビ州のブルバック国立公園は、今年初めて火災に見舞われた。この火災は、地下に伝う炎が、樹木を焼き尽くすという。この現場では、消防隊員が、地下に伝う炎を、土を掘って、水を注ぎ、消火しようとしている。消防隊員は、地下に伝う炎を、土を掘って、水を注ぎ、消火しようとしている。消防隊員は、地下に伝う炎を、土を掘って、水を注ぎ、消火しようとしている。

97.10.5 (政経)



スマトラ島 森林火災地帯を行く



州都ジャンビから北東へ約八十。バタンハリ川に接したフルバック国立公園は一九九一年にラムサール条約で指定された湿地の保護区だ。

落ち葉が積もってふわふわしたジャングルを川岸から十分ほど歩くと「昨日火が消えた」ジャンビ自然保護センターのラモン所長という現場に會った。

焼けただ地面 今もさびる炎

「ジャンビ(インドネシア・スマトラ島南端) 4日、焼けただけた地面、立ち枯れたように茶色の葉が残る樹木、煙が所々に上がる。四日、日本の緊急救援隊専門家チームとともに訪れたインドネシア・ジャンビ州の森林火災現場は一度火の手が上がり人間の力で何とかもならない森林火災の恐ろしさを見せつけていた。

日本救援隊も悪戦苦闘

たったが「約」千兵が燃けた」といふ。

掘った木を切るなど延焼を防ぐ

この現場では泥炭層まで火は回らなかったが、地下に溜った火は「多少水を掛けたぐらいでは消

救護隊員ら

スマトラ島南部の森林火災現場で消火指導をする日本の緊急救援隊員ら
4日、インドネシア・スマトラ島南部ジャンビ州のフルバック国立公園

です。ボゴールを本部とする国際協力事業団(JICA)の森林火災防止プログラムのリーダーとして林野庁から派遣されている宮川秀樹さんは話した。

地下二、三メートルは、落ち葉が水に漬かり腐敗しきれないままに積った泥炭層だ。泥炭は乾燥すると燃えやすく火災は泥炭層を伝わって広がる。

この現場では泥炭層まで火は回らなかったが、地下に溜った火は「多少水を掛けたぐらいでは消

そして地下の火は根を焼き、木を枯らす。

奥地は人跡未踏の深いジャングルで「時々、川を泳いで渡るとラモン所長とける」(ラモン所長)というフルバック国立公園だ。だが、川沿いには家具材のラタン自営での人間が入り込む。今年も雨に雨が少なく、川沿いは「たばこの火でも山火事が起きる」といふ。

97. 10. 9 夕刊

(社 会)



インドネ

シアのスマ

トラ、カリ

マンタン島で六月下旬以降、続いて
いる大規模な森林火災で発生した煙に
よる大気汚染はますます広がり、マレ
ーシアなど近隣諸国にも大きな被害を
与えている。

政府は、インドネシア、マレーシア
両国政府からの要請を受けて、消
防、医療、大気汚染対策の専門家
から成る緊急援助隊を六人ずつ、両
国に派遣した。便利な背負い式消
火用水袋を両国に三百個ずつ（総
額三千五百万円相当）を送ったほ
か、使い捨て式の防煙マスクも援
助する予定だ。

この火災による大気汚染で気管
支炎など呼吸系の疾患に苦しむ人
が多く、煙霧（スモッグ）のひどさか
ら、煙を出す工場の操業停止、観光客
の減少など、日々の生活や経済活動に
も深刻な影響が出ている。

またスマトラ島で起きたガルーダ・
インドネシア航空機の墜落事故も、ス
モッグによる視界不良が原因の一つと
されるなど、被害は広がる一方だ。日
本の緊急援助隊の派遣は当然と言え

国際緊急援助隊

「国際緊急援助隊の派遣に関する法
律」は十年前の一九八七年九月に施行
された。「政府はもっと顔の見える人
道援助に力を入れるべきだ」という世
論の後押しもあって生まれた法律だ。
外務省によると、この十年間に三十
五チーム、延べ三百九十二人が海外の
大きな災害地に派遣され、また援助物
資の供与も約百五十件に上ってい
る。

☆

いつでも飛び出せるように、警
察、消防、海上保安庁、自衛隊合
わけて約二千九百人、国際協力事
業団（JICA）に登録済みの民
間医師約五百五十人が待機してい
る。また、毛布、テント、発電機、
浄水機、医薬品などの援助物資も、
すぐに送り込めるように備蓄してお
り、備蓄倉庫は千葉県成田市のほかに、
シンガポール、英国、米国、メキシコ
と海外にも設けられ準備は十分だ。

米年度予算では、財政再建のため政
府開発援助（ODA）が大きく削減さ
れるが、その中で緊急援助隊のような
人道援助はなるべく減らさない方が外
交上も得策だろう。

97.10.6 夕刊

(文化)



125(2)

インドネシアのスマトラ、カリマンタン両島で六月下旬以降、続いていく大規模な森林火災で発生した煙による大気汚染はますます広がり、マレーシアなど近隣諸国にも大きな被害を与えている。

消防用水袋を両国に三百個ずつ(総額三千五百万円相当)を送ったほか、使い捨て式の防煙マスクも援助する予定だ。この火災による大気汚染で気管支炎など呼吸系の疾患に苦しむ人が多く、煙霧(スモッグ)の力をいれざるべきだとい

「国際緊急援助隊」

ひとさから、煙を出す工場の操業停止、観光客の減少など、日々の生活や経済活動にも深刻な影響が出ている。またスマトラ島で起きたガルーダ・インドネシア航空機の墜落事故も、スモッグによる視界不良が原因の一つとされる

ど、被害は広がる一方だ。うに、警察、消防、海上保安庁、自衛隊合わせて約二千九百人、国際協力開発機構(JICA)に登録済みの民間医師約五百五十人が待機している。また、毛布、テント、発電機、浄水機、医薬品などの援助物資も、すぐに送り込めるように備蓄しており、備蓄倉庫は千葉県成田市のほかに、シンガポール、英国、米国、メキシコと海外にも設けられ準備は十分だ。来年度予算では、財政再建のため政府開発援助(ODA)が大きく削減されるが、その中で緊急援助隊のような人道援助はなるべく減らさない方が外交上も得策だろう。(忠)

9. 9. 26
朝日新聞(7)

総 合

森林火災で 援助隊派遣

インドネシアなどへ

村岡兼造官房長官は二十六日午前の記者会見で、インドネシア各地で六月下旬から頻発している森林火災による大気汚染に対処する

ため、医療、消防、大気汚染対策の専門家らで構成する政府の国際緊急援助隊を、インドネシアとマレーシアの両国に六人ずつ派遣すると発表した。両国政府の派遣要請にこたえた。期間は二十九日から約十二日間を予定している。

日本政府、放水器提供へ

煙害、近隣国でも深刻に

インドネシアの山火事対策

【ジャカルタ25日ロイター】インドネシアの大規模な山火事による煙の被害が東南アジア各国に拡大している。在留邦人の生活にも影響しており、日本政府は二十四日、インドネシアなどに煙火のための放水器を緊急に贈ることを決めた。煙害が最も深刻なマレーシアはすでに約千人の消防部隊をインドネシアに派遣、フィリピン、フランスもインドネシアに支援を申し出ている。

日本が緊急無償援助として、インドネシアに贈ることによる呼吸器系の疾患の専門家を派遣、マレーシアで放水器三百組（計約二千七百万円相当）、マレーシアにもほぼ同数の小型放水器を贈る計画で、国際協力事業団を通じて今月中にも両国に引き渡す。さらにイン



煙害が深刻なクアラルンプールではマスクで自衛する市民も目立つ＝A P

することを決定。第二陣の「ネシアに到着した。マレーシアはさらに、消火のため

の「水爆弾」を投じた空軍機隊をインドネシアに派遣する方針だ。インドネシアのカリマンタン（ボルネオ）、スマトラ両島を中心に六月ごろから広がった山火事は、すでに森林計三十万ヘクタールを焼いた。

発生した大量の煙は近隣のマレーシア、シンガポールの流れ込み、両国では在留邦人を含め、呼吸器系の異常を訴える住民が頻出。視界不良で飛行機や船のダイヤも混乱している。煙は最近になってフィリピン、タイにも達した。

インドネシアではこれまで煙による呼吸器系の疾患で少なくとも二人が死亡した。同国政府は森林焼却のため、農園会社など百七十六社が故意に火を放っているのが山火事の原因とみて中止を命じたが、収まる気配はない。エルニーニョ現象の影響で同国の乾期は今年、通常より三カ月長い十二月まで続くとの予測もあり、被害がさらに広がる可能性もある。

森林焼失は地球的災害だ

六カ国の空を覆すほどの煙の被害とは、想像を絶するものがある。

インドネシアのボルネオ島やスマトラ島などで発生した森林火災は、三カ月も続いている。煙はマレーシア、シンガポール、さらにはタイやフィリピンなどの一部にまで及んだ。東南アジアの島しょ部、帯を覆う煙霧は、数千万の人びとの生活や健康、自然の生態系に打撃を与えている。

米国やカナダは外交官の一時退避を指示

し、英独両国は渡航自粛を勧告した。在留邦人にも、脱出の動きが出ている。

しかし地域の住民には、煙害から逃れるすべはない。せきや鼻水に苦しむ、ぜんそくなどで五万人近くが治療を受け三人が死亡した。二十六日のガルーダ航空機墜落の原因も煙霧との関連が疑われている。

焼き畑農業の火が原因と見られる森林火災は、小規模ながら毎年起きている。インドネシア政府は今回、森林に火を放った開

発業者百七十六社を公表した。人口が急増する島々で、森林を切りひらいていく開発の波が火災の背景にあったのだから。

今年はいエルニーニョ現象による異常気象で、降雨量が極端に少なく空気が乾燥しきっていたことも災いした。干ばつで多くの犠死者が出ていると伝えられる。

少なくとも三十万本の森林が、すでに失われた。心配なのは、熱帯雨林の動植物への影響だ。サイヤトラ、オランウータン、サイチョウなどの野生生物、貴重な薬草など世界的に絶滅が懸念されてきた動植物が、さらにこれだけ失われるのか。多様な生物種と遺伝子の宝庫とされる熱帯雨林の焼失は、人類全体の損失である。

火災で発生する大量の二酸化炭素が地球温暖化を促進することも気になる。

マレーシアは、高まる国民の不安に消防士を隣国の火災現場に送った。インドネシアともども、日本に援助を求めている。

災害の規模を考えると、官民協力してできる限りの支援を急ぎたい。

外務省は、消防士が背負って運べる小型消火器六百個を贈ることを決めた。国際協力事業団(JICA)の国際緊急援助隊も、大気汚染対策や消火の専門家、医師らの救援隊二チーム、十二人を週明けにインドネシア、マレーシアに派遣する。

正式結成十周年を迎えた援助隊は二十一日に記念訓練を公開した。世界各地での活動を期待されているが、今回の救援でも、いくつかの課題が浮かび上がった。

緊急災害に備えて、援助隊は欧米、アジアの海外四カ所に援助物資を備蓄している。だが、シンガポールにある備蓄倉庫には、地震や台風被害に備えたテントや発電機、医療器具などはあったが、マスシヤ消火器具など森林火災を想定した備蓄はなかった。火災多発の現地事情からすれば、必要な物資ではなかったらうか。

当初、相手国の要請がある前に調査団の派遣を検討したが、効果的な消火方法がないという判断から断念した。だが、その後の結果をみれば、さまざまな援助の方策を柔軟に検討すべきであった。

民族紛争や貧困などにもなっって発生する難民救済に対応できないといった問題点とあわせ、緊急援助隊は新しい複合災害と

いうもう一つの課題を背負った。長期的には、大規模火災の背景となった森林の乱伐を食い止める必要がある。きちんと森林経営が持続できるような条件づくりには、木材や製品の大輸入国である日本の責任は大きい。

事態は、地球的視野でとらえる必要がある。対岸の火事ではない。

国際緊急援助隊 日本あす派遣

日本政府は、インドネシアの森林火災と、それを原因とするマレーシアなどへの大気汚染災害の救援のため、二十九日、両国へ国際緊急援助隊・専門家チームを派遣する。両国の援助要請を受け人道的地域から決めた。チームはいずれも六人で編成し、呼吸器系の疾患治療に対処するための医師のほか、インドネシアには消火指導の消防庁職員、マレーシアには環境汚染対策の指導者らを加えた。

これより先、二十四日には、約三千五百万円規模の緊急援助物資として、両国に背負い式の消火用水罐各三百組を提供することを決定。「ヘリコプターによる消火が視界不良で困難なため、こつした機罩式の消火器材で少しずつでも消火するしかない」（外務省筋）状況で、今後さらに、防煙用マスクを送ることも検討している。

持 集

緊急検証 インドネシア森林火災

野焼き大規模化「雨少なく



委員・乗客全員死亡のガルーダ機墜落、マラッカ海峡で三十人近い行方不明者を出した貨物船衝突。空と海に相次いだ大惨事を誘発したとみられているのが、インドネシアでこの三カ月間頻発している森林火災に伴う煙害だ。スモッグ(煙霧)は国境を越えて広範囲な地域へ拡大し、赤道直下や周辺の海、陸をすっぽり覆う勢い。今世紀最大とされる「エルニーニョ現象」元凶説が強いのだが、この異常に地球温暖化加速の懸念が急速に広まっている。なぜこれほどまでに拡大したのか、対策はないのか、緊急検証した。

④インドネシア・ボルネオ島では、森林火災も多大に。コショウ農園で懸命に消火する母子。ボルネオ島の重要な生態系も大きなダメージを受けている。いずれもロイター



今回の森林火災は、六月下旬からカリマンタン島(ボルネオ島)とスマトラ島で頻る自営情報通信会社の野地消滅。既に三十万トンを超えたという。その煙は、周辺諸国にも広がっていき、健康にも深刻な影響が出始めた。すでにインドネシアでは二人が死亡し、三万数千人が治療を受ける事態に一部では学校の休校や、邦人駐在員の脱出も始まった。

まさに大被害なのだが、発端は現地で伝統的に行われている野焼きとみられている。一九九二年に天候驟雨がマレーシアを訪問した際に、森林火災のため、飛行機が飛べずに日程が変更になったことがあった。この森も、実は野焼きの煙だったという。インドネシアもこの時期、数日単位で火が付けられ、例年は雨で自然消火するのだが、今年はエルニーニョ現象(別稿参照)のためか異常に降雨量が少なく、火災の範囲が広がった。

同国の首都ジャカルタにある自営情報通信会社の野地消滅は「ジャカルタでも」の四、五カ月、全蒸雨が降っていないような印象があり、部分では枯れてきています。穀物にも被害が出ているようです」と証言する。インドネシア政府はこの事態を深刻に受け止め、二十四日にはスハルト大統領が「国家災害」と宣言、野焼き禁止令を出した。

海外の支援も本格化。ガルーダ機墜落(二十六日)の前には、日本政府がインドネシア、マレーシア両政府の要請にこたえて、国際協力開発基金(JICA)による緊急救助隊を初めて派遣することを発表していた。医師や消防員、大気汚染の専門家らで構成し、二十九日に出発する。この問題には既に取り組んでいて、九六年四月から二〇〇一年までの計画でインドネシア政府とともに「森林火災予防計画」を進めている。現地に専門家五人を派遣済みです。(JICA)

森林火災の消火手助け インドネシアに 衛星画像を提供

JICA

国際協力事業団（JICA）は、インドネシア林業省に同国で広がっている森林火災の消火活動に役立つ衛星画像の提供を始めた。

この画像を手がかりに煙害の原因となっていると推定される火災現場から優先的に消火活動できるようにする。

JICAは七月からジャワ島のジャカルタ南方に位置するボゴールで米国の気象衛星「ノア」と日本の気象衛星「ひまわり」の画像の受信を開始。九月二十二日に初めて二つの画像を合成し、林業省に衛星画像を提供し始めた。

インドネシア森林火災

国際緊急援助隊を派遣

インドネシアで深刻化した森林火災消火活動を援助するため政府は29日午前、インドネシアとマレーシア両国に、専門家チームによる国際緊急援助隊を派遣した。

インドネシアは森林火災救済目的で、外務省から団長1人のほか消防庁から2人、医師2人、コーディネーターとしてJICA職員が1人。マレーシアは大気汚染対策として、団長以下、汚染測定専門家2人、医師2人など。

JICAは、インドネシ

アに森林火災消火活動用として先週、背負い式の消火用具300台を送っており、消防隊などに使用方法を教える。マレーシアでは、空気中の煤塵を測定する器材と防護用マスク数台を持ち込み、現地で救済活動にあたる。

両チームは来月10日までの12日間活動する予定。

援助隊、成田を出発

インドネシアで発生した山火事の煙霧で深刻な大気汚染被害などが起きているインドネシア、マレーシアで援助活動を行う政府の国際緊急援助隊が二十九日、成田空港から両国に向けて出発した。

国際緊急援助隊は医師や

消防、大気汚染対策の専門家ら十二人。六人ずつに分かれて現地入りし二日間の子定で救済活動を行う。また政府は背負い式消火器六百個(三千五百四十万円相当)も現地に送ることにしている。



1 ジャンビ州居住者からの聞き取り調査
左から、山下隊員、佐藤隊長、片山インドネシア事務所員、ジャンビ在住貫山専門家



2 インドネシア保健省での協議
左から、保健省派遣柏樹専門家、Dr.Nadhiria（現場に同行）、Dr.Nyoman Ngantun保健省環境衛生局長、金山隊員、在インドネシア日本大使館宇津書記官、国井隊員、野田隊員



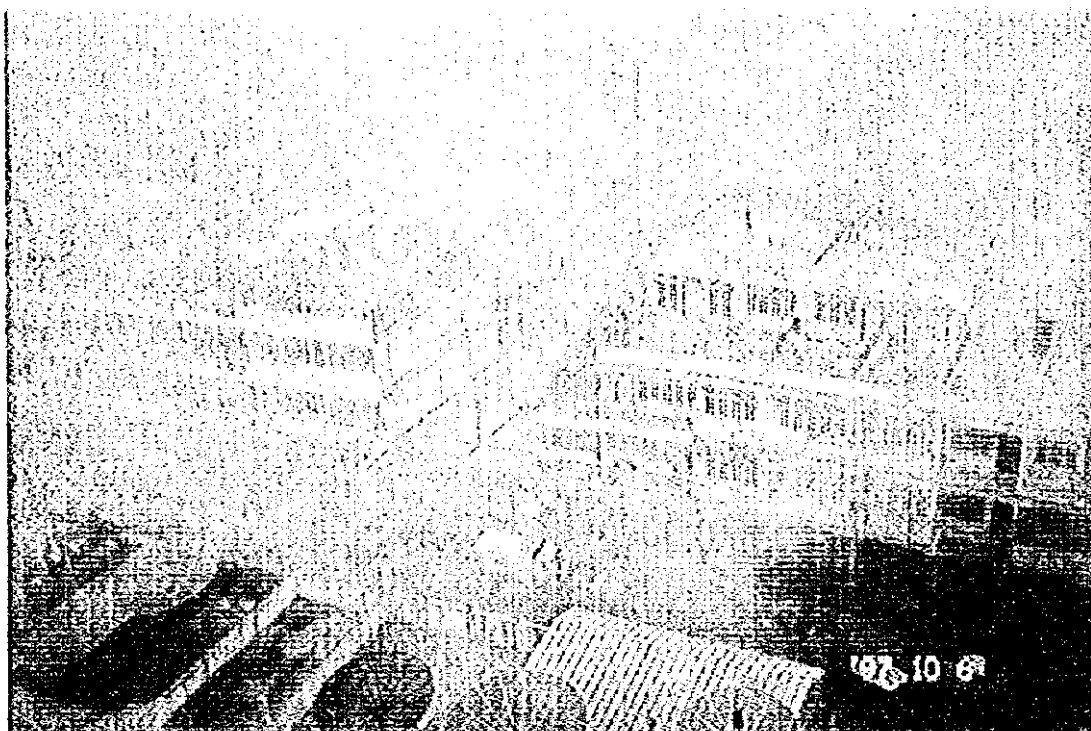
3 ランブン州政府関係者との協議



4 ジャンビ州政府関係者との協議



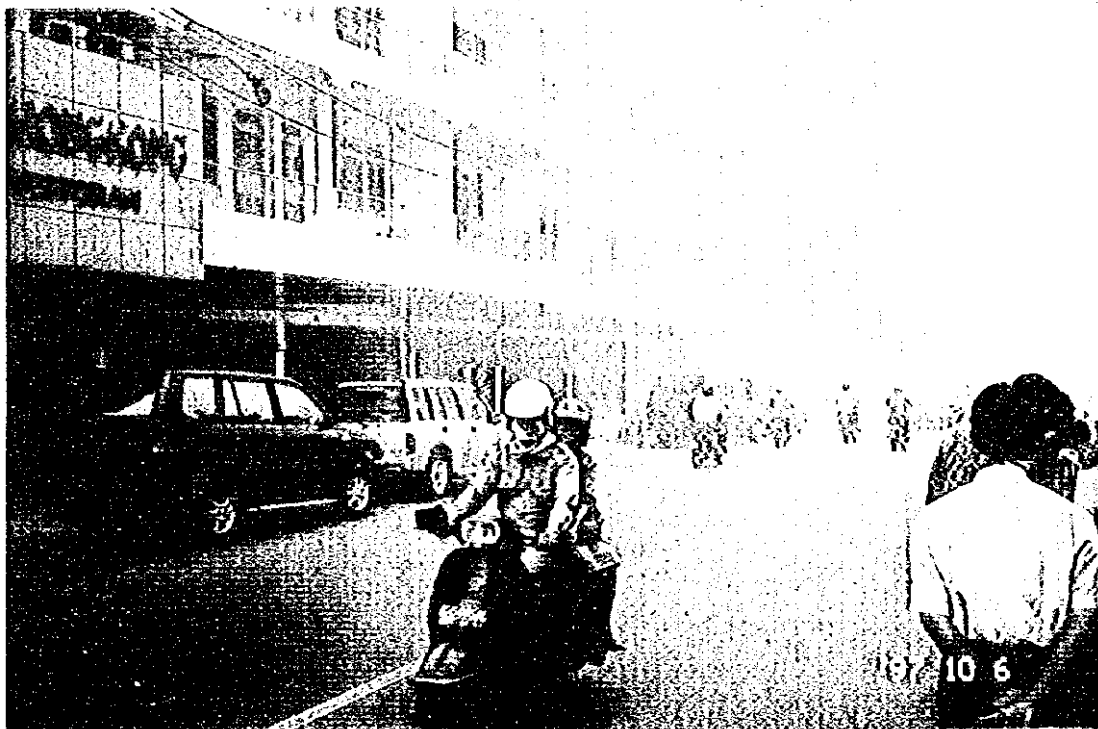
5 ジャンビ市街中心部の様子
(ホテル9階より大通りを撮影、視界は100メートル以下)



6 同上



7 ジャンビ市街中心部の様子
(太陽が見えず、昼間でもライトを点灯する必要あり)



8 同上



9 環境調査

一酸化炭素、二酸化炭素濃度と浮遊粒子数を測定中の環境管理センタープロジェクト矢島専門家（中央）とカウンターパート（ランプン～パレンバン間）



10 住民に対する健康調査

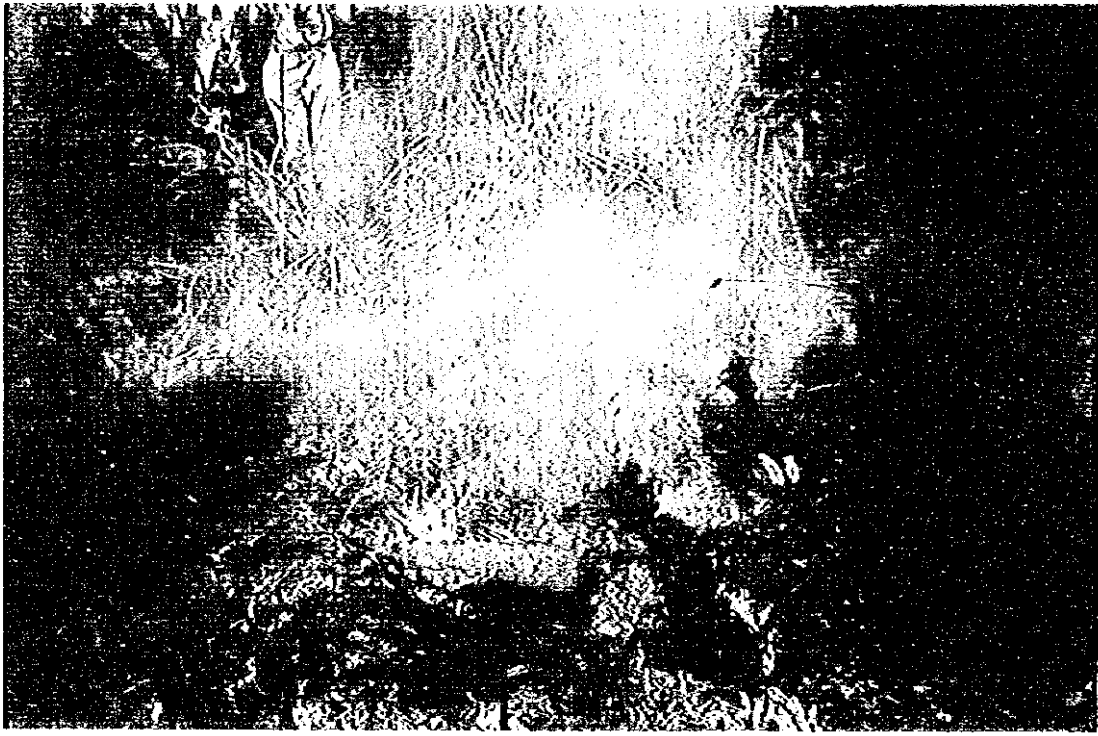
ジャンビ市内中学校で診察に当たる金川隊員



1 1 健康調査
肺機能を確認中の国井隊員



1 2 同上



13 森林火災現場 (ジャンピ州、ブルバック国立公園)



14 同上.



15 泥炭層への延焼状況を調査する、森林火災防止プロジェクト宮川リーダー



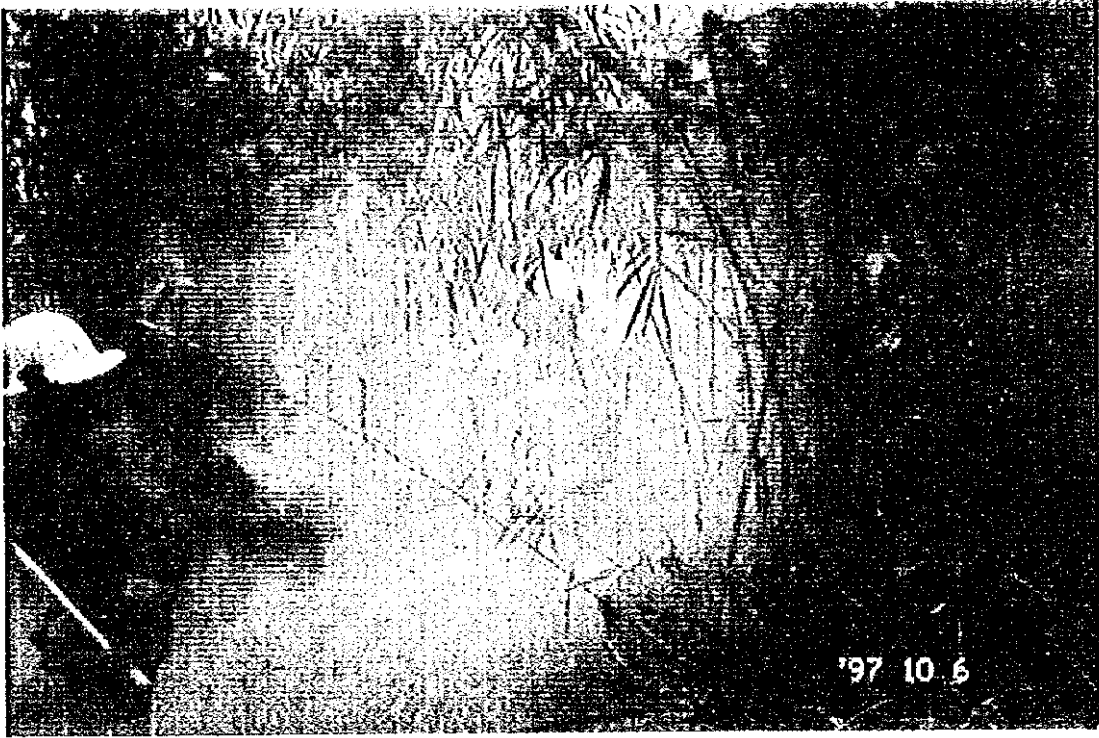
16 ジェットシューター（背負い式水囊）を用いて省か指導を行う林隊員



17 森林火災 夜間の様子
(パレンバン～ジャンビ間で撮影。国道より数メートル)



18 居住地に迫る火災
(ジャンビ近郊で撮影)



19 消火に当たるマレイシア消火隊



20 マレイシア消火隊キャンプ

JICA